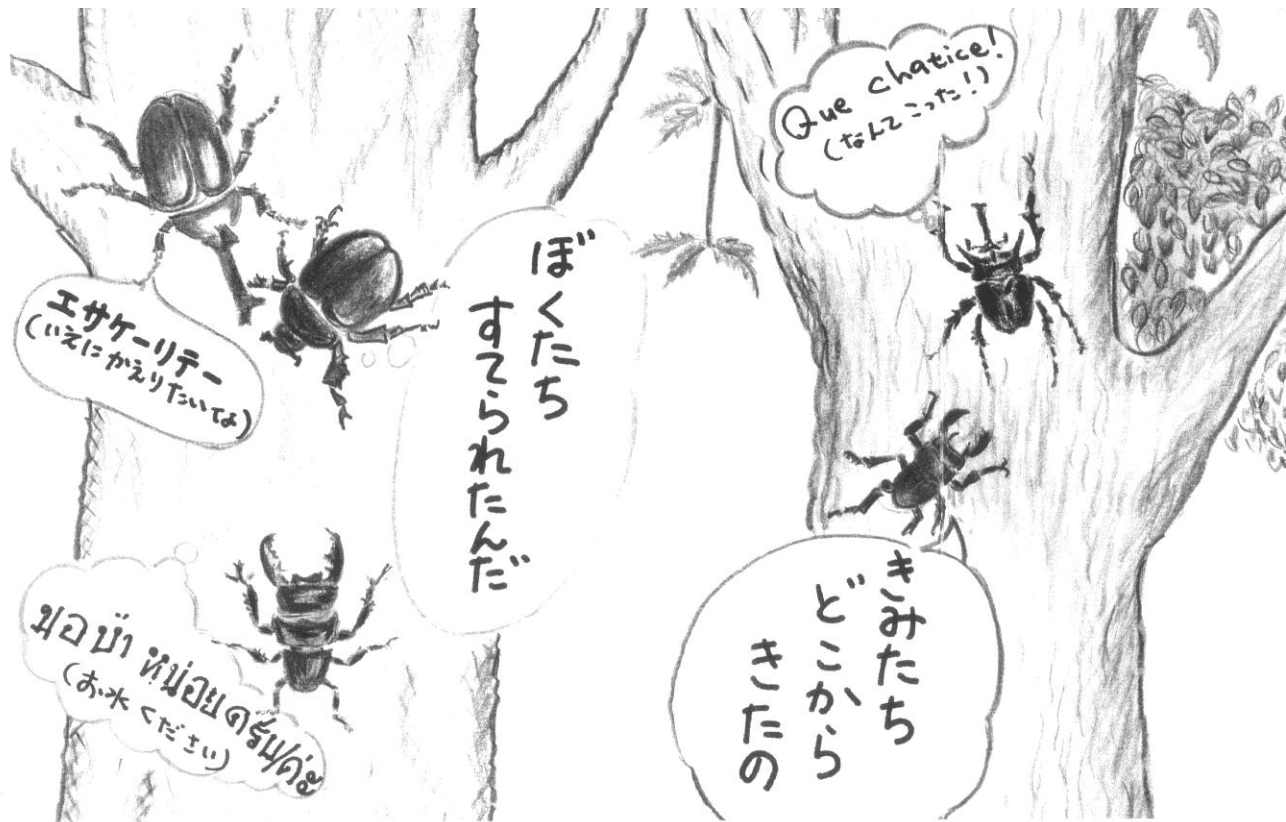




ゴロスケ報々



●横浜自然観察の森ボランティアまつり●

友の会行事のお知らせ

日時 2014年10月26日(日) 10:00~13:40 (受付9:45~)
場所 横浜自然観察の森センター前集合

横浜自然観察の森友の会の活動の紹介と、実際の体験をしていただきます。
主な内容は畑の収穫、絵本の読み聞かせ、自然ガイドツアー、バードウォッチング体験
コースター作り、野鳥の声の解説、自然と遊ぼう、森に住む動物たち、などです。

申し込み 行事名(ボランティアまつり)参加者全員の氏名・年齢、代表者の連絡先・電話番号を記入の上 E-mail (kansatsunomori@gmail.com) または Fax (045-894-8892) でお申し込みください。

小学生までのお子様は保護者同伴でご参加ください。
定員30名(先着順)
会員の方も、ぜひご参加ください。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

事務局からのお知らせ

●7月定例会報告●

日時 2014. 7. 20 (日) 13:00~15:00

出席者 大浦 (議長)、村松、青木、吉田、落合、半田、高橋、渡部 (書記)、中里、古南 R

議事

1. 友の会の行事報告をしました。
2. 友の会の行事予定を確認しました。
3. ごろすけ館の利用予定を確認しました。
4. 事務局より
 - ・10/26の「森のボランティアまつり」の要項を確認しました。役割分担は9月の定例会で決定します。
 - ・栄区と金沢区の区民活動センターへの団体登録の申請を行いました。
 - ・7月1日現在での友の会会員は135名です。
5. センターより
 - ・業者作業の草刈が7月~8月にあります。危険木伐採は終了しましたが、危険と思われる樹木がありましたらレンジャーまで連絡ください。
 - ・6月に引き続き8月にも学生インターンが実習に来ます。友の会の行事に参加させていただくことがありますので、よろしくお願ひします。
 - ・その他 レンジャーのページをご覧ください。

次回定例会は 9月21日 (日) 13:00~ センター研修室にて
会員の皆様、どなたでも参加できます。

定例行事のお知らせ

●「みんなでバードウォッチング」 担当 鳥のくらし発見隊●

「みんなでバードウォッチング」は毎月第2日曜日、9時スタートです。昨年度までは、年3回はセンター主催のバードウォッチングでしたが、今年度からは12回すべて「鳥のくらし発見隊」が担当することになりました。

活動が始まったのは15年前。当時の記録を見ると「参加者2名」とか、時には「参加者0名」なんていう時もありました。それに比べると、現在の参加者は40名を超えることも珍しくありません。

「バードウォッチングの楽しさを、そして自然とのかかわりを知り、自然の恵みを感じてもらいたい」というスタッフの思いが、少しずつ広がっているのかもしれない。スタッフも15年前はほんの数人だったのが、現在は17名と増えました。20代から70代まで、毎回楽しく参加の皆さんをご案内させていただいています。

今年は初めての試みとして、初心者対象のバードウォッチングを12月6日(土)に計画しています。バードウォッチングの基礎から学べる内容にしたいと考えていますので、ぜひご参加いただきたいと思います。詳しくは10月のゴロ報でお知らせします。

●森の絵本を作ろう●

森の絵本を楽しもう・夏休み親子イベント
森の絵本を作ろう

日時：8月27日（水）9：30～12：00

受付：自然観察センター前

対象：小学4年生～6年生と保護者 若干名（一般の受付が終わっているため友の会特別枠を設けました）

参加費：無料

材料：こちらで用意しております。

持ち物、服装：飲み物、帽子、汚れても良い服、歩きやすい靴

申込：イベント名・参加者の氏名・お子様の学年・電話番号・Eメールアドレス・FAX番号を書いて
8月22日（金）までに

Eメール kansatsunomori@gmail.com

または fax 045-894-8892（観察の森）で申してください。

担当：森の絵本づくりの会

●ミズキの池ハイド前の環境整備をしよう●

毎年この時期に、ミズキ池のハイド前の草刈を実施し、池の眺望を良くして、今年も元気に現れてくれているカワセミの幼鳥や、時々訪れる水鳥達が良く見えるよう、環境整備を一緒に行いましょう。

1. 日時 : 9月7日（日） 9時10分
2. 集合場所 : 観察センター前
3. 作業時間 : 9時30分～11時30分
4. 作業場所 : ミズキの池ハイド前
5. 服装等 : 汚れても良い服装。飲み物、軍手、可能な方は昼食
6. 参加資格 : 友の会会員（中学生以上）

担当：カワセミファンクラブ

●カワセミファンクラブ飛翔野鳥写真展●

カワセミファンクラブでは毎年春に定例の写真展を実施していますが、そこではなかなか紹介する機会の少ない、飛翔する野鳥の姿に限定した特別写真展をこの秋に初めて開催致します。この写真展を通し、飛び野鳥の一瞬を切り取った、力強くも美しい姿が、この森を訪れた皆様の印象に残る事を願っています。

1. 開催期間 : 平成26年9月14日（日）～10月13日（月）
2. 開催場所 : ゴロスケ館
3. 主催 : 友の会「カワセミファンクラブ」

刃物の手入れ

森の管理には刃物が欠かせません。鋸・鉋・鎌・鍬・鋤など。日々の手入れをしっかりとやれば、安全に効率よく作業ができます。手入れをしていない刃物は疲れるし危険です。

横浜自然観察の森がある円海山近郊緑地特別保全地区周辺に鍛冶ヶ谷という地名があります。鍛冶職人がいたことに由来しているようです。鍛冶、古くは冶金師つまり鉄などの金属を作る職人も指していました。鍛冶ヶ谷に近いよこはま栄高校敷地内に「深田製鉄遺跡」と呼ばれる奈良時代の製鉄遺構があります（残念ながら埋められ見られません）。ここでは、鍛冶が砂鉄から鋼（はがね）を作っていたようです。鎌倉周辺の砂浜が砂鉄を多く含み色が黒いのは川からの砂鉄の供給があるからですが、鍛冶ヶ谷周辺も一つの供給源で土の中に砂鉄が多いと推測されます。

砂鉄以外に製鉄に必要なのが大量の炭です。つまり、製鉄するには禿山になるくらい木を伐ります。中国地方は良質の砂鉄も山中で採れたこともあり、山から山を禿山にしながら移動してたたら製鉄を行いました。その結果二次林として赤松林が成立しました。竈の燃料として松葉や枯れ枝が利用された時代は、松の根本が整理され松茸が生え、松も保全されました。現在は松林に人が入らず荒れ、松の元気が失われ松茸も採れなくなり、そこに松枯れ虫が襲いひとたまりもなく真っ赤に枯れてしまいました。

現在、たたら製鉄は全く行われなくなりましたが、唯一年に1回だけ出雲地方の「日刀保（日本刀保存の略）たたら」で実施されます。土でできた風呂状の窯に炭と砂鉄と交互に入れ三日三晩焼きます。火に空気に吹き込むためにふいごを足で踏む作業が伴います。「たたらを踏む」という言葉の所以です（「もののけ姫」に出てきますね）。そして、「けら」と呼ばれる鋼の塊ができあがります。日保刀では2.5トンのけらができ、それを良質な鋼の「玉鋼（たまはがね）」と低質の「ずく」に分けられ、刀鍛冶に配布されます。残念ながら日本刀以外の刃物に玉鋼が回ることはまずありません。玉鋼は炭とともに焼いて作られるので多量の炭素が含まれた硬く脆い鉄で、刀鍛冶によって熱して叩かれ引き伸ばされて折り曲げられます。その工程を何度も繰り返し、炭素や硫黄などの不純物を飛ばしながら形を整えられていきます（現在の鍛造とは異なります）。これで、硬いけれど粘っこい（脆くない）刀になります。

日本刀ほどではありませんが、森や林で使う刃物も似たような手間をかけて作られます。世の常ですが、手の入ったものは手入れをしてあげないと十分に力を発揮することができないものです。森や林を豊かにするために、刃物の手入れ術をしっかり身につけ、使い終わったらすぐに手入れをすることを習慣づけたいものです。

●森を守る作業体験 炭焼き●

活動拠点である横浜自然観察の森炭小屋には大窯があり、約原木で600kgの材料を炭にできます。原木の装荷をして着火、30分ごとの温度記録で炭焼きの体験ができます。ぜひ参加ください。

- 1 日時 : 9月27日(土) 9時から14時まで。雨天決行
- 2 集合時間・場所 : 横浜自然観察の森 センター前 9時
- 3 参加条件 : 小学生以上の方、中学生以下の参加には保護者同伴。先着10名さま
- 4 服装 : 作業可能な服装(長袖 長ズボン) 軍手 スニーカー 帽子
- 5 申し込み方法 : 参加者全員の氏名 年齢 電話番号を記入して:
電話 045-895-5151, E-mail ; yokohama-nc@wbsj.org
- 6 その他 : 昼は味噌汁をだします。おにぎりなど持参ください。

担当 雑木林ファンクラブ

●2014年度「いつでも、どこでも、身近な自然の案内人講座」●

身近な自然の素材を使って生きもののくらしやそのつながりを伝えるインタープリテーションとプログラムの作り方を、実践を通して体験的に学ぶ二日間のコースです。

横浜自然観察の森でガイドウォークを行っている「森の案内人・ハンミョウの会」のボランティアたちが、そのノウハウや秘密を惜しみなくお伝えします。

期日: 2014年11月2日(日)・3日(月:祝) 9時30分~16時(二日間コース)

場所: 横浜自然観察の森・観察センター研修室およびフィールド
<http://park15.wakwak.com/~yokohama/>

内容:

- (一日目) 自然のメッセージを受け取る多様な視点に気づこう
- (二日目) 自然のメッセージをわかりやすく伝えてみよう

定員: 20名程度(先着順)

参加費: 1000円/人・二日間(横浜自然観察の森友の会会員は500円)

申込締切: 10月25日(土)

問い合わせ、申し込み:

電子メール charlieonearth@c3-net.ne.jp

氏名、〒住所、緊急連絡電話、メールアドレス(携帯も可)、受講動機

担当: 森の案内人・ハンミョウの会

●アライグマ捕獲檻の巡回ボランティアを募集します

特定外来生物アライグマについて4月号当欄で、横浜市による短期の捕獲結果とヤマアカガールへの食害を報告しました。これを受け今年度は、複数の場所でできるだけ長期間行うことを市と検討しています。檻による捕獲は日々の巡回が必要ですが、これを業者に委託すると、短期間に予算が尽きてしまうという実情があります。そこで今回、巡回をお手伝いいただくボランティアを募ることに致しました。

★内容 11月～3月のご都合のよい平日午前中に捕獲檻を巡回。

捕獲されていればセンターにご連絡いただけます。

★お申込み 11月1日(土)までにレンジャー掛下までお名前をご連絡ください。

(電子メールは yokohama-nc@wbsj.org)

皆さんのご協力があれば、より長期間の捕獲が可能となり、生態系被害を早く減らすことができます。ご応募お待ちしております。

★なお「生きもの講演会」(次欄)の終了後、巡回ボランティア打合せ会を行います。

(15:30～16:30の予定) ボランティアにお申込みくださる方は、是非この講演会と打合せ会にもご出席ください。(お申込み時に講演会ご参加も受付します。)



●生きもの講演会「自然観察の森のアライグマ生態系被害防除講習会」 参加者募集!

★日時 11月1日(土) 10:00～15:30 雨天決行

★対象 中学生以上 40名

★講師 NPO 法人三浦半島生物多様性保全 天白牧夫さん、他

★内容 アライグマの被害防除の先進事例や法律を学び、観察の森における捕獲の取組みを体験します。

★服装・持ち物 動きやすい服装、筆記用具、昼食、飲み物、雨具

★申込 10/24×切。参加者全員のお名前、学生の方は学年を記入の上、FAX(045-894-8892)、E-mail (yokohama-nc@wbsj.org) または往復はがきで自然観察センターまで

<保全管理計画のフォローアップ>報告 保全管理の検討会 (第2回・第3回)

第2回 7月5日(土) 13:00～15:00

○出席者(11人) 友の会 上原明子さん・落合道夫さん・片岡章さん・関根和彦さん・大越哲朗さん・大浦晴壽さん・篠原由紀子さん・藤原功さん・吉田賢一さん・張間信子さん・渡部克哉さん
横浜市みどりアップ推進課 大浦康史さん・井上雅人さん レンジャー 古南幸弘・赤星稔

○内容 5月に行った桜林の低木層の植生調査の中間まとめを見直した後、調査の続きを行いました。小雨の中の調査、ありがとうございました! 全部で52本の低木にマーキングをしました。

第3回 8月2日(土) 13:00～16:00 勉強会「クツワムシについて知ろう」

○出席者(22人) 友の会 篠原さん・大浦さん・片岡さん・落合さん・藤原さん・吉田賢一さん・上原さん・山路智恵子さん・中塚隆雄さん・山田靖彦さん・関根和彦さん・志釜じゅんこうさん・井川喜久江さん・大越さん・藤田薫さん 横浜市みどりアップ推進課 大浦さん・井上さん

他ウェルカムセンター関係の方々(新治・舞岡・環境活動支援センター) レンジャー 古南・赤星

○内容 東大大学院の生物多様性研究室の大学院生、清川紘樹さんから、クツワムシの生態と調査方法について学びました。クツワムシは関東一円で数が減っているそうですが、観察の森では近年、なぜか生息が復活しています。清川さんの研究では、クツワムシの主な生息地は、半日陰になる林の中の、ツル植物などの草本の多い空き地(ギャップ)に生息すること。今後の桜林等の植生管理の参考になりそうです。他に炭小屋裏のスギ・ヒノキ林の管理計画の準備状況についてZFCからご報告頂きました。

★当日お話ししたクツワムシ分布調査は以下のように行います。参加して下さる方は古南までご連絡ください。 8/24(日)、9/6(土) 18:30～21:00位(雨天は8/27、9/7に順延)

保安全管理の懇談会 7月6日(土) 13:00~15:00

○出席者(13人) 友の会 山口博一さん・大浦さん・村松さん・片岡さん・関根和彦さん・漆原弘光さん・落合さん・吉田賢一さん・大越哲朗さん・篠原さん・藤田薫さん・藤田剛さん・渡部さん
横浜市みどりアップ推進課 大浦さん・井上さん レンジャー 古南幸弘・赤星稔

○内容 今年度、横浜市(委託業者)の行なう草刈や外来種(ツバキ、メタセコイア等)の伐採等の環境管理作業、改修工事、レンジャーの行なう環境管理作業等について報告し、意見交換を行いました。3月に市が霊園口の歩道にたまった土砂を除去した際に土砂を車庫横の空地に搬入した結果ブタナ等の外来種が入ってしまったことについて、レンジャーのチェック不足を反省し、この土を動かさず外来種を抑え込むと共に、再発防止のため環境管理マニュアル等の文書に明文化しておくことを確認しました。改修工事では10月以降、水道施設の耐震工事のためピクニック広場が一部使えなくなります。また長倉口のトイレが年度末までに建直され、野外解説板がリニューアルされます。

今後の予定 ★保安全管理の検討会★ 第4回 10月4日(土) 13:00~15:00

★桜林の秋の植生調査を行います。また炭小屋裏のスギ・ヒノキ林の作業計画を検討します。

★資料の準備のため、できるだけ10/2までに古南か赤星にご連絡ください。ただし当日参加OKです。

主催行事のサポーターを募集中!

「いきものを知る守るシリーズ「草地のバッタパトロール隊」(小学生とその保護者対象の行事)

◆日時 調査編:9月20日(土)10:00~15:00 保護編:10月11日(土)10:00~14:00

★お申込み・お問合せは、レンジャー瀧本までどうぞ E-mail: takimoto@wbsj.org

「ちびっこ自然たんけん隊」(未就学児とその保護者対象の行事)

◆日時 10月18日(土)、10月25日(土)10:00~12:00

★お申込み・お問合せは、レンジャー黒川までどうぞ E-mail: kurokawa-m@wbsj.org

サポーターの方の生き物の知識の多寡は問いません。主に安全管理についてご協力いただきます。きっと、観察の森の新たな魅力を発見できますよ。

ボランティア

6/5~8/9

ありがとう

- 6/4 水上重人さん:ホテル調査補助。6/12、18、25、7/2、12、16、23、30、8/6も。
6/11 雑木林ファンクラブの皆さん:紙芝居用拍子木の修理
6/25 雑木林ファンクラブの皆さん:関係者駐車スペースの草刈
6/21 「畑と生きものをつくろう」に湘南工科大実習生(春山あづみさん・川上浩志さん)受入れ
6/28 雑木林ファンクラブの皆さん:輪投げ修理
7/5 保安全管理の検討会にご出席いただいた皆さん:桜林の植生調査
7/6 保安全管理の懇談会にご出席いただいた皆さん 利用推進会議に出席いただいた理事の皆さん
7/6 「季節の森を歩こう」に湘南工科大実習生(春山あづみさん・川上浩志さん)受入れ
7/8 落合道夫さん:一輪車パンク修理
7/15 事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん:業者草刈のためのマーキング。8/5も
7/23 雑木林ファンクラブの皆さん:薪ストーブ用薪作り。8/9も
7/27 漆原弘光さん:「水辺の生きものパトロール隊」のサポート
8/9 「定点カメラで動物調査」にイカ-ソップ 大学生(横浜市大 大野絵理さん・玉川大 浅野理子さん)受入れ
8/9 雑木林ファンクラブの皆さん:絵本の展示台制作
6/5~8/9 カワセミファンクラブの皆さん:展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供
6/5~8/9 事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん:開花情報のご提供

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892 E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

イラスト 大久保香苗(タイトル)・黒川マリア



行事スケジュール 8月～10月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●季節行事●

※1、3、5ページに詳細があります

- 森の絵本を作ろう 8/27(水)
- ミズキの池ハイド前の環境整備をしよう 9/7(日)
- カワセミファンクラブ飛翔野鳥写真展 9/14(日)～10/13(月)
- 森を守る作業体験 炭焼き 9/27(土)
- ボランティアまつり 10/26日(日)
- いつでも、どこでも、身近な自然の案内人講座 11/2(日)&3(月:祝) 要申込

●センター主催行事●

■【草地のバツパトロール隊～調査編～】

日時：9/20(土) 10:00～15:00(雨天時は9/28)

※参加者は10/11の保護編にも参加可

対象：小学生とその保護者40名まで

申込締切：9/7

■【ちびっこ自然たんけん隊】

日時：10/18(土) 10/25(土) 10:00～15:00

対象：3-6歳の未就学児とその保護者40名まで

申込締切：10/5

○申込はイベント名、全員の氏名、お子様の年齢、電話番号、返信先を書いてEメール FAX、往復はがきで

☆ボランティアさん募集！ご興味のある方はレンジャーまで

●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の活動内容紹介とルールを～

草刈りを体験しよう 10/19(日)

9:30～14:00 雨天決行

受付：直接、自然観察センターの研修室へ

対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

発行日 2014年8月17日

発行 〒247-0013

横浜市栄区上郷町 1562-1

横浜自然観察の森友の会

電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892

郵便振替 00240-1-59172

年会費 大人 2000円 小中学生 600円

http://www.geocities.jp/yns_tomo/

E-mail: yns_jimu@yahoo.co.jp

この会報は、友の会ボランティアによって作られています。
全頁無断転載を禁じます。

●定例行事●

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

9/7(日)・10/5(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●定点カメラで動物調査

9/13(土)・10/11(土)

5～10月 9:30～ 現地調査：会員対象

6～11月 11:00～ 写真チェック：どなたでも参加できます

持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参。

活動日：5～11月の毎月第2土曜日の午前中

●写真展「森の動物たち」

10/19(日)～11/8(土) @ゴロスケ館

担当：事務局内グループ・定点カメラで動物調査

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

9/14(日)・10/12(日)

9:00～13:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

8/27(水)・9/17(水)・10/15(水)

10:00～12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

9/20(土)・10/18(土)

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

8/23(土)・9/27(土)・10/25(土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜